

令和6年度

坂城町高校生タイ国研修事業 研修レポート



令和7年3月23日～27日

坂城町高校生タイ国研修事業の実施にあたって

坂城町高校生タイ国研修事業は、平成27年度に初めて実施しました。

タイ国に進出している町内の有力企業8社の9工場について、年に3工場の視察をお願いし、3年を1サイクルとして3回の研修を実施しました。

平成30年度からは、2サイクル目として継続して事業を実施していくこととしましたが、新型コロナウイルス感染症の状況等を鑑み、令和元年度から令和4年度までは事業を中止しておりました。

令和5年度に5年ぶりに事業を再開することができ、令和6年度は2サイクル目の最終年として、令和7年3月23日から27日までの5日間の日程で実施しました。

工業のまち・坂城町の企業は世界各国に進出しており、タイ国へも9社が進出しています。異国の環境で「ものづくり」を進める企業の姿を直接目にするには、町のものづくり企業の事業内容を知り技術力の高さを再確認する貴重な場です。

また、その国や暮らす人々の魅力を感じ交流することは、多感な高校生にとってかけがえのない経験にもなります。

これまでのタイ国研修の成果を踏まえ、今後も本事業を実施していく予定です。

参加した高校生8名の皆さんは、3月23日の早朝、坂城駅を出発しタイ国へ旅立ちました。タイ中部のシラチャに進出している桜井製作所、日精樹脂工業、都筑製作所の町内企業3社及び在タイ日本国大使館の見学のほか、タイ国の歴史・文化に直接触れる異文化体験を行いました。

帰国後、5月21日には研修報告会が行われ、参加された皆さんからは、それぞれ積極的な研修発表がなされました。

今回のこの研修を通じて、将来、坂城町を支える若者が、国際理解や国際感覚を養うとともに、将来の展望を広げる有意義な機会になったことでしょう。

令和7年(2025年)5月

坂城町長 山 村 弘



前列左から2番目以降、竹前、浅野井、渡邊、水出、富山、樋口、小林、山岸（敬称略）

（出発前に、しなの鉄道坂城駅にて）

タイ国 3泊5日

期日	都市	発着	時間	交通機関	適要
令和7年 3月23日 (日)	坂城駅 上田駅 上田駅 東京駅 東京駅 浜松町駅 浜松町駅 羽田空港 バンコク シラチャ	発着 発着 発着 発着 発着 発着 発着 発着 発着 発着	6:27 6:39 6:56 8:22 8:35 9:30頃 11:25 16:20 17:20 19:20	しなの鉄道 新幹線 モノレール JL31 専用車	しなの鉄道、新幹線、モノレールにて 羽田空港へ 空港チェックイン 航空機にてタイへ 入国手続き後、 専用車にてシラチャへ ホテルにて夕食 【シラチャ泊】
3月24日 (月)	シラチャ アユタヤ		8:00発 9:00～9:30 11:00～12:00 12:15～13:00 15:00～16:00 19:00頃 19:30	専用車	ホテルにて朝食 6:30～ タイ進出町内企業視察 ・桜井製作所 訪問視察 ・日精樹脂工業工場 訪問視察 (社食にて昼食) ・都筑製作所 訪問視察 ホテル到着 ホテルにて夕食 【アユタヤ 泊】
3月25日 (火)	アユタヤ バンコク		8:30発 10:00 12:00 14:30～16:30 20:00頃	専用車	ホテルにて朝食 アユタヤ午前 見学 〈象乗り体験10分 ワットラマハタート ワットプラシーサンペット〉 バンコク市内 ソンブーンにて タイ風海鮮料理 在タイ日本大使館へ 訪問 研修 レストランにて伝統舞踊ショーを見ながら夕食 【バンコク 泊】
3月26日 (水)	バンコク 空港 バンコク空港	着 発	20:00頃 22:05	専用車 JL34	ホテルにて朝食 バンコク市内観光 暁の寺院(移動に渡し船)・涅槃仏寺・エメラルド寺院・王宮 ツインタワー内ホテルビュッフェ タイ現地学生7名と市内散策 ショッピングモールで買物 タイ学生と解散後、タイスキにて夕食 夕食後、空港へ 空路、帰国の途へ 【機内 泊】
3月27日 (木)	羽田空港 羽田空港 浜松町駅 浜松町駅 東京駅 東京駅 上田駅 上田駅 坂城駅	着 発着 発着 発着 発着 発着 発着 発着	5:40 6:40頃 7:40頃 7:52 9:18 9:45 9:56	モノレール 新幹線 しなの鉄道	モノレール、新幹線、しなの鉄道にて 坂城町へ

□利用航空会社:日本航空

□利用ホテル： シラチャ/パシフィックパークホテル

アユタヤ／アユタヤグランドホテル バンコク／センターポイントシーロム

参 加 者 名 簿

	職 名	氏 名	読み仮名	備 考	ページ
①	副町長 (Manager)	臼 井 洋 一 (YOICHI USUI)	うすい よういち	団長	－
②	企画政策課 係長 (Assistant Manager)	宮 原 卓 (SUGURU MIYABARA)	みやばら すぐる	事務局	－
③	企画政策課 主事 (Staff)	神 林 春 美 (HARUMI KAMBAYASHI)	かんばやし はるみ	事務局	－
④	坂城高校 2 年生 (High schooler)	水 出 花 香 (HANAKA MIZUIDE)	みずいで はなか	サブ リーダー	4～11
⑤	上田高校 1 年生 (High schooler)	富 山 紗也夏 (SAYAKA TOMIYAMA)	とみやま さやか		12～16
⑥	上田高校 1 年生 (High schooler)	山 岸 果 穂 (KAHO YAMAGISHI)	やまぎし かほ		17～21
⑦	上田高校 2 年生 (High schooler)	竹 前 颯 汰 (SOTA TAKEMAE)	たけまえ そうた	リーダー	22～29
⑧	上田高校 2 年生 (High schooler)	浅野井 拓 (TAKUMI ASANOI)	あさのい たくみ		30～36
⑨	上田染谷丘高校 2 年生 (High schooler)	樋 口 碧 (AOI HIGUCHI)	ひぐち あおい		37～41
⑩	上田染谷丘高校 2 年生 (High schooler)	小 林 果 穂 (KAHO KOBAYASHI)	こばやし かほ		42～46
⑪	清泉女学院高校 1 年生 (High schooler)	渡 邊 に こ (NIKO WATANABE)	わたなべ にこ		47～51
⑫	近畿日本ツーリスト添乗員 (Tour Conductor)	加々美 美 彩 (MISAE KAGAMI)	かがみ みさえ	添乗	－

※学年・職名は3月の研修時点

坂城町タイ国研修で学んだこと

水出 花香

・はじめに

3月23日から27日に3泊5日の坂城町タイ国研修に参加させていただきました。初めての海外研修ということで楽しみな気持ちと同時に不安がありましたが、実際に現地を訪れたことで、日本では得られない貴重な経験をすることができました。

まず初めに、坂城町に本社を構える桜井製作所、日精樹脂工業、都筑製作所のタイ工場を視察しました。現地の従業員の方々がモノづくりに対して前向きに取り組んでいる姿がとても印象的でカッコいいと感じました。

また、在タイ日本大使館や世界文化遺産のアユタヤ遺跡を見学しました。さらに、人生初の象乗り体験と餌やりなどを体験し、文化背景や歴史を学びました。最終日には、現地の学生と交流する機会があり、英語やジェスチャーを通じてコミュニケーションをとりながら、ショッピングモールでの買い物や食事を一緒に楽しみ、言葉の壁を越えてつながることの楽しさを実感しました。

【3月26日 タイの学生との交流の様子】



タイならではの建築物や文化だったり、風習、街の雰囲気、匂いだったり、私が初めて経験することが沢山あり世界にはまだまだ知らないことが多いと実感しました。今回の研修を通じて様々な国に行ってみたいと思いました。

・ 企業視察

【桜井製作所】

2 日目に企業視察を行いました。

1 社目に、シーラーチャーにある桜井製作所を見学させていただきました。シーラーチャーは、チョンブリ県にある港湾都市です。私たちが、飛行機で乗り降りしたバンコクにあるスワンナプーム国際空港から車で南に約 1 時間 15 分ほど行った場所にあります。

工場に着くと桜井社長と社員の皆さんが暖かく出迎えてくれました。そこで、出迎えてくださったタイ人の社員さんが日本語で挨拶をしてくれました。

桜井製作所は、自動車や農業機械、建設機械などに使用されている部品の加工を行っています。まず、最初にどんなことを行っているのかお話を聞き、その後工場の中でお話しを聞きながら見学しました。

【3 月 24 日 桜井製作所の工場内見学の様子】



社員の人数は、坂城町にある工場と比べて少ないですが、一日に作っている部品数は数えきれないほど製造していました。機械で手のひらサイズの部品から大きなサイズの部品まで多く作っており、傷があるかないか丁寧に確認をされていて大変さが伝わってきました。ほんの小さな傷であっても、その部品を使う先で大変な問題が発生する可能性があると思うと、丁寧に傷の有無を見極める仕事の重要性を改めて実感しました。

また、タイ独自の文化として「サーン・プラブーム」という守護神の祠が工場やお店などに祀られており、そこに飲み物やお花などを飾りみんなでお祈りする場面も体験をしました。

日本の会社では、毎日神様にお祈りをして1日が始まるという習慣は少ないですが、タイでは毎日のようにお祈りをするところがあり、さすが仏教の国だと思い知らされました。ものづくりと信仰が共存している文化の違いに触れられた貴重な機会でした。

【3月24日 神様にお祈りする様子】



【日精樹脂工業】

2社目に日精樹脂工業を見学させていただきました。日精樹脂工業は、女性の方々が出迎えてくださって多くの女性の方が働いているのだと感じました。

日精樹脂工業では、射出成型機の製造、販売をしています。ここでは、射出成型機の機械を組み立てる作業を行っていました。最初に、射出成型機を組み立てる前に一部品一 부품の軽自動車ぐらいのサイズ感の部品を傷がないか確認し、その部品を一人ひとりが手作業で手洗いしていました。次に、洗った部品を3～4人ほどで一つの射出成型機に組み立てる作業を行っていました。一人が一 부품の作業を行います、その部分だけを覚えるのではなく射出成型機全体の組み立て方をみんなでシェアしながら、どこの作業でも組み立てられるようにしているそうです。チーム全体が柔軟に対応できる体制を整えていることが分かりました。

見学が終わった後にお昼ご飯を頂きました。最初、料理が出されたとき、私は少しびっくりしました。日本では料理が出される際に食品ごとに分けてお皿に盛られることが多いですがタイでは、一つの皿に料理が盛られていました。スープも一緒のお皿だったので少し食べづらかったです。

【3月24日 食堂で提供いただいたタイ料理】



また、料理を作って下さった食堂の方が少し辛さを控えめに作って下さり、訪問者への配慮が感じられ、とても温かい雰囲気でした。実際に

料理を食べてみると、辛いところもありましたが、食べることが出来ました。タイの料理を口にする事で、文化を五感で感じることができました。

【都筑製作所】

3社目に都筑製作所を見学しました。

都筑製作所では、自動車部品や油圧機器、精密機械の製造、加工、建設機械や船外機などの機能部品の開発、製造を行っています。自動車部品や建設機械部品では、フロントナックル、サスペンション、ブレーキ部品といったところを作っていました。また、生産設備の開発や既存設備のメンテナンス、改造も自社で行っているそうです。

実際に工場の中を回ってみると工場も広く、2015年には第一工場の拡張工事が行われ、2021年には第二工場の建設が着工されたそうです。工場が広い分、たくさんの種類の機械があり毎日たくさんの量の部品が出来上がっていると考えるとすごいなと思います。また、工場の中にエアコンが効いたハウスのような構造の空間があり、そこでは精密な部品加工や細かな作業が行われていました。こうした空間は、温度や湿度の影響を受けやすい部品の製造にとって重要であり、品質管理の面でも高い意識を感じました。

日本と海外での工場の違いを現地に行って確かめることは、この先あまり機会がないと思うので良い経験をすることができました。

【3月24日都筑製作所見学の様子】



・在タイ日本大使館

3日目に、在タイ日本大使館を訪問しました。入口から高い塀や厳重なセキュリティがあり、安全対策がしっかりと施されていることがわかりました。特にタイにおける政治情勢や災害時の対応などについて、情報提供や緊急連絡網が整備されていることを知り、非常に心強く感じることができました。そして、館内に入ってみると私が思っていた建物と違い、整然としていて驚きました。建物内に入ると、大阪・関西万博のキャラクター「ミャクミャク」のパネルがたくさん置かれていました。異国の中で日本の文化や動きがしっかりと発信されていることを実感しました。

また、在タイ日本大使館はどんなことをしているのかを職員の方に教えて頂きました。外務省や外交政策などといった、日本とタイの違いについて知ることができました。そこで、日本とタイとのビジネス関係の違いでは日本では「時間厳守」が重視されており、時間に関して非常に厳しいです。一方でタイではある程度柔軟で、多少の遅れも許容されることがあるというお話が印象に残りました。

在タイ日本大使館を訪れたことで、日本人として守られている実感を得ることができました。また、現地の生活に不安を感じたときに訪れる場所があるという安心感は海外で生活するうえで大きな支えになると思いました。今後も積極的に大使館からの情報に目を通して、必要に応じて利用していきたいです。

【3月25日 在タイ日本大使館での集合写真】



・終わりに

今回のタイ研修を通じて、私は様々な「初めて」のこと経験をし、私の中の世界が大きく広がったと感じています。また、日本とは全く異なる文化や歴史、生活習慣に直接触れ、違いを実感することができました。

初めての飛行機は少し緊張もありましたが、空の旅はとてもわくわくしました。上空からは富士山や海などの景色を見ることができました。また、機内食も食べることができました。タイ風の料理が提供され、食べてみると私が思っていたよりも美味しかったのが印象に残っています。

タイに到着してまず感じたことは、空気の匂いの違いでした。空港から出た瞬間に感じたのはスパイスやお香などが混ざり合った独特な匂いがしており、まさに異国の入口を実感させるものでした。最初は少し驚きましたが、次第に匂いにもタイらしさを感じるようになり楽しめました。

文化の違いでは、大きな発見をすることができました。タイの人々はとても穏やかで優しい人柄、「微笑みの国」と呼ばれる理由が至るところで感じられました。また、仏教が生活の中に深く根付いており、人々のふるまいや心の持ちようにもそれが表れていることに気づきました。

象に乗る体験も忘れられない出来事の一つです。実際に象の大きな体に乗って、道路をゆっくりと進む中で、その大きな体と穏やかな動きから、象の持つ力強さと優しさの両面を感じることができました。また、タイの歴史や文化にとって非常に重要な存在であり、タイの人々が象をどれだけ大切にしているかを知るよい機会になりました。

そしてなにより感動したのが、アユタヤやバンコクなどの世界遺産を訪れたことです。長い年月を経てなお残る仏像や遺跡群は、まさに時を超えた芸術作品のようで、その場所に立つだけでタイの歴史の重みを感じることができました。とくに、木の根に囲まれた仏像の姿は自然と信仰が一体になっているような神秘的な印象を受けました。

【3月25日 タイ象乗り体験の様子】



今回のタイ研修を通じて、日本とは違う価値観や生活習慣に直接触れることで自分自身の視野が大きく広がったように感じます。また、異文化を理解しようとする姿の大切さ、そして自国の文化を再確認することができました。今後もこの経験を忘れずに、さまざまな国や人々と積極的に関わっていきたいと思います。

追伸

帰国後の翌日にタイ、ミャンマーで大地震がありました。地震前日に交流した、タイの学生に SNS を通じて連絡を取ったところ無事であることが分かり、安心しました。

タイ国研修を通して

富山 紗也夏

○はじめに

私は3月23日から27日の5日間で坂城町タイ国研修に参加させていただきました。そして、この研修を通じてたくさんの貴重な体験をすることができました。まずは初めての海外で言葉も文化も違う人たちの中で生活することの大変さ、自分自身の英語力の至らなさを痛感しました。ですが、それ以上にサポートしてくださったたくさんの方々のお陰でとても楽しく、学びのある研修にすることができたと思っています。

まず、タイ国に着いてはじめて思ったことはとにかく「暑い」ということです。もともと体が強い方ではなかったのに、着いたときはここでも何日も生活できるのかと本気で心配になりました。夜になっても気温はあまり下がらず、エアコンが手放せない生活でした。

食事も日本とは大きく違って、すべての料理が酸味と辛味が強い印象を受けました。私は辛すぎて食べられない料理もたくさんあったのですが、交流させていただいた現地の学生が全然辛くないよと笑って言っていたのをよく覚えています。

坂城町の企業を見学させていただく他に、有名な遺跡や王宮も見学しました。遺跡はガイドさんの説明を聞きながら回ったことで、タイの歴史について詳しく知ることができました。王宮はとにかくすべてが輝いていて、近くで見ると装飾の細かさに圧倒されました。



○企業視察

【株式会社桜井製作所】

桜井製作所はチョンブリー県に位置しています。自動車の部品などを主に作っており、販売会社を tier1 とすると、tier2 に位置しています。桜井製作所の下にも、更にたくさんの会社がものを製造したり、材料を仕入れており、たくさんの企業がつながって一つの製品ができていることがわかりました。チョンブリー県にある桜井製作所では、坂城町の工場でも見学したプレス加工について学びました。実際に工場を見て回ったり説明を聞いているうちに、とても精密な作業が必要で、何回もプレスを繰り返して一つの製品を作り出す工程の多さに驚きました。

また、タイの会社のほとんどはあるという祭壇にお参りさせていただきました。お花や食べ物をお供えして願い事をするということだったので、無事に帰れますようにとお願いをしました。こういったタイの文化に触れられたこともとてもいい思い出となりました。



【日精樹脂工業株式会社】

日精樹脂のタイ工場はラヨー県イースタンシーボード工業団地内に

位置します。日本の工場では樹脂を固めて製品を作る過程を見学しましたが、タイ工場ではその機械を作っている様子を見学しました。日本で見学した内容とは全く違うものを見ることができ、とても興味深かったです。一つの機械を作るのに大きいものだと完成までに数ヶ月単位でかかるという工程の多さ、丁寧さに驚き、タイの工場であっても日本で作るものと遜色ないほど高品質な製品なのだとわかりました。また、タイ工場では、一人の作業員に一つの仕事を任せて効率化を図れるようにしており、それによって人が急にいなくなっても仕事に大きな支障が出ないようにしているそうです。経営面でも学ぶことが多くありました。

見学のあとに社食もいただきました。だいぶ辛さを抑えたと言っていますが、それでも結構な辛さでした。食べるのが大変でしたが、とても美味しかったです。



【株式会社都筑製作所】

都筑製作所は、アマタシティーチョンブリー工業団地に位置しています。主に自動車の部品、建設機械用の部品を製造しており、Honda や Komatsu などの国内メーカーに年間100万台以上の部品を供給している企業です。タイ工場では建設機械用の油圧機器の製造、自動車部品を主に製造しています。工場の見学以外にも、業務の管理を機械化して、簡単に仕事状況が把握できるようにするなど、システム面でも効率化を図っていることがわかりました。また、工場を見学している時にたくさんの従業員の方がお辞儀を下さってとても嬉しかったです。帰る際

に象のイラストが入った扇子をいただき、日本とタイの文化が合わさっていることを感じる事ができて嬉しく思いました。



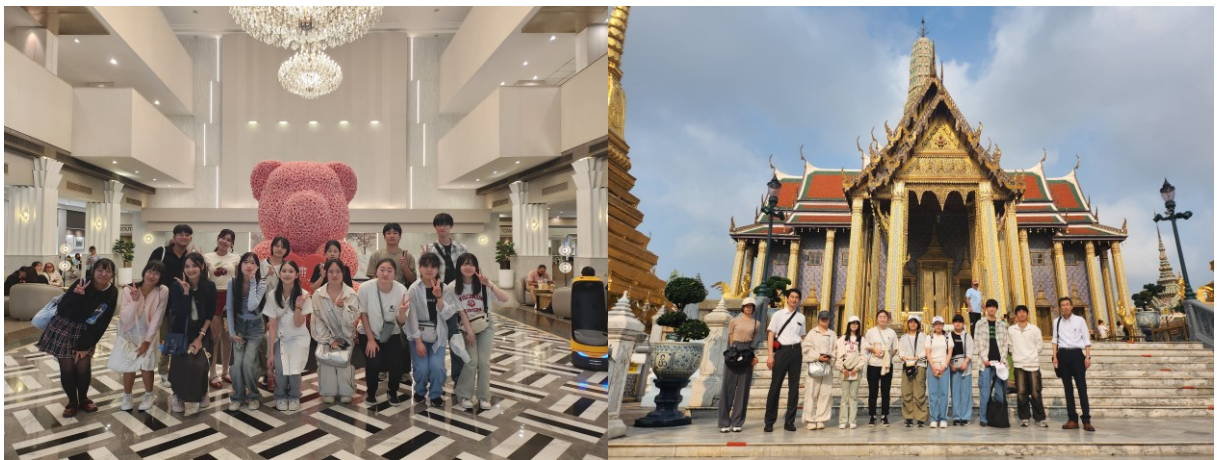
○【日本大使館】

日本大使館では、大使館の役割や、どんな仕事をしているのかについて教えていただきました。外交活動の他にも、現地の人に日本のことを知ってもらう活動や、現地の日本人の支援など、私が思っているよりもずっと幅広い仕事があることを知りました。また、タイで仕事をしていて大変だったことはありますかという質問をさせていただいたときに、企画や申請を通すときにとにかく時間がかかって大変だと答えていただきました。大使館での仕事内容や、国際的な話を聞いて、将来について考えるきっかけにすることができました。



○終わりに

初めての海外で、不安な気持ちのほうが勝っていましたが、最後には本当に行って良かったと感じました。タイは何もかもが日本と違って、建物一つとっても新鮮でとても楽しかったです。タイに行く前は英語に自信がなく、言語が違う人と会話することに怖さもありましたが、現地の方々とのコミュニケーションを通して、英語が完璧でなくても相手が汲み取ってくれることも多く、もっと積極的に話そうという気持ちになりました。5日間があっという間に感じられるとても充実した研修旅行でした。この経験を大切にして、今後に活かしていきたいと思います。



タイ国研修を通して

山岸 果穂

○はじめに

3月23日から27日にタイ国研修に行ってきました。初めての海外旅行ということもあり、楽しみより不安のほうが大きかったですが、実際に行ってみると、そんな不安も忘れてしまうくらい、とても楽しかったです。日本では、見ることのできないものも、たくさん見ることもできたし、多くの体験もすることができました。

特に印象に残っているのは、日本と同じで仏教を信仰していても、日本の落ち着いた色合いの寺院と比べて、金色で細部の模様まで色とりどりでとても綺麗だったことです。



○企業視察

【株式会社桜井製作所】

桜井製作所さんでは、車などに使われる金属部品の加工を主にしてい

ます。金属のプレス加工の中でも、絞り加工という加工方法を得意としている会社です。

タイに工場を置いた理由は、人がとてもいいからだそうです。私自身も、現地の学生と交流する中で、タイの人は明るく、話しやすいと思いました。しかし、仕事をするうえで、日本との考え方の違いでたいへんなこともあるようでした。

また、桜井製作所さんでは、企業視察の他に、旅の安全祈願もさせていただきました。タイの工場や家には、外に小さな祠がある事が多かったです。タイ式のお祈りの仕方も教えていただき、タイの文化を一つ知ることができました。



【日精樹脂工業株式会社】

日精樹脂さんでは、プラスチックを加工するための、射出成形機というものすごく大きな機械を作っています。日精樹脂のタイ工場では、工場のすべての工程を、1つの大きな部屋にし、柱で区切ることで、部品の加工から出荷まですべてが流れるように見えるようになっています。部品の加工から組み立て、完成したものの保管といった、作業全体の流れが、とてもわかりやすくなっています。

タイ工場で、以前は、入社してもすぐに辞めてしまう人が多かったため、作業の効率を上げるために、社員一人一人に、1日でできる仕事をや

らせていたそうです。しかし、現在は、何年も連続で勤務してくれている人の数が増えたことで、製品の質が上がっているとおっしゃっていました。また、タイ工場で製品を作って、『Made in Thailand』であっても、『Made by 日精』を大切にして、製品の質が落ちないように管理しているそうです。製品を作るうえで、1番時間をかけている工程は、最後の出来上がった製品の検査をする工程だそうです。何日もかけて検査することで、高品質な製品を作っています。



【株式会社都筑製作所】

都筑製作所さんは、車の金属部品のナックルというタイヤ周りの部品などを生産しています。タイの工場見学に行って驚いたことは、すごく工場が広いということでした。工場は何個かありましたが、工場の一つ一つもすごく大きくて、まだもう1つ工場を作る予定とのことでした。

完成した製品を検査する気温などが徹底された部屋には、多くの社員さんがいました。日本よりも賃金が低いため、同じ金額でもタイの方が人をたくさん雇えるということで、検査員が多くいました。



○在タイ日本大使館

初めて大使館に行って、まず、セキュリティが高いと感じました。門があって、そこに警備員さんがいて、さらに受付では、スマホなどの電子機器を回収されました。大使館の中に入ると、タイにあるのに日本みたいでした。大阪・関西万博の公式キャラクターである、ミャクミャクのパネルがいくつも飾ってある空間もありました。

駐在員の方に経歴などのお話を伺ったあとに、タイで生活するうえで大変なことや、考え方や文化の違いで困ったことなど、現地で長期滞在しないとわからないことについて質問させていただきました。その中で、役所などでの書類のやり取りの話があって、日本よりもとても時間がかかり、低賃金によってモチベーションの低さも問題ではないかとおっしゃっていました。



○おわりに

タイ国研修を通して、自分はまだまだ日本のことをあまり知らないということに気付いて、自分の住んでいる町のことも知らないことが多いということに気付きました。現地に行ってみると、たくさんの日系企業があり、こんなにも身近に海外進出している企業があることにとても驚きました。

今の時代、インターネットで調べれば、実際に現地に行かなくても見られるものもたくさんありますが、現地に行って、自分の目で見て、体験するということの大切さに改めて気付きました。この研修での経験や学んだことをこれからの生活に活かしていきたいです。



タイ王国研修を経て

竹前 颯汰

〇はじめに

「タイってどんなん？」この質問に完璧に答えられる人なんて日本人ではごく僅かだと思います。もちろん、私だってこの質問に口ごもりながらなんとか言葉を取り繕うことで精一杯です。タイ王国について知っていることといえば、学校の地理の授業で得た知識くらいしかありません。なので、当初はタイ王国に行く想像が膨らまず、タイ王国研修の話聞いたところで、率直に「行ってみたい！」という感情にはなれませんでした。

しかし、実際に訪れると、これまでに持っていた“イメージ”とは全く異なりました。私はこれに“驚き”と“別の驚き”を覚えました。当たり前のことですが、タイ王国と日本では様々なことが大きく違って何度か驚かされました。しかしながら、私はいつのまにかタイ王国に対して、「どうせタイなんて....」という“イメージ”すなわち“偏見”を持ってしまっていたことに気づき、再び驚かされました。このことは、タイ王国のことを侮辱的に捉えていたと言っても過言ではありません。また、タイ人を勝手に枠どっていたとも言えます。そのような重大かつ初歩的な過ちと向き合いつつ、タイ王国を正しく知ろうと思いました。自分の偏見を認識するには、実際に感じ、触れ合うことが大切なのだとしみじみと感じました。



○企業視察

【株式会社桜井製作所】

私達は、まず「SAKURAI MFG (THAILAND) CO., LTD.」を訪れました。桜井製作所は、油圧機械で鉄鋼をプレスして、型番の形に変形させて、鉄鋼製品を作っている会社です。工場に入ると、非常に大きなプレス機が何台もあり、迫力がありました。見学中も一定の間隔でプレス機が作動し続けていて、金属が変形するときの甲高い音がずっと鳴り響いており、本格的な工場だなと思いました。

私が桜井製作所で一番魅力的だと感じたことは、工場にも関わらずアットホームな雰囲気だったことです。これは、桜井社長がすごく朗らかで、愉快的な人柄だからに違いありません。例えば、タイ工場では、夏に運動会が開催されるため、従業員どうしでスポーツを楽しむことができます。また、誕生日を迎えた従業員は、社長直々にケーキが贈られるそうです。他にも従業員が盛り上がり、楽しめるアクティビティがたくさん開催されているそうです。比較的、女性従業員が多く見受けられたのも、安心できる雰囲気が関係していると思われます。桜井製作所からは、鉄鋼製品の加工方法を教わるとともに、楽しい雰囲気で作業することの楽しさを学びました。



【日精樹脂工業株式会社】

続いて「NISSEI PLASTIC MACHINERY (THAILAND) CO., LTD.」を訪れました。日精樹脂工業は、射出成形機と呼ばれる、樹脂製品を造るための大型機械を製造する会社です。また、樹脂製品自体も造っています。長い歴史をもつ会社で、坂城町にある本社には射出成形機の変遷や、日精の代表的な樹脂製品が数々展示されていました。見学したタイ工場では、一つの製品を製造するのにいくつもの複雑な工程が必要であるため、完璧な生産ライン体制が整えられていました。そこでは、作業を分割して部品を組み込み、精密な射出成形機が製造されていました。そのため、樹脂は加工が難しいけれども、機能性の高い機械及び樹脂製品が製造されているそうです。



また、日精樹脂工業では、生産性向上のため、他にも様々なところに力を入れていると伺いました。主な取り組みを二点紹介します。

一点目は、従業員にできるだけ長期的に働いてもらうように労働環境を整備している点です。社員食堂を主として、従業員のストレスなどを緩和するいろいろな施策を執り行っています。長く勤めることは、従業員の視点から考えると、失業のリスクが低減するので安定した収入を得ることができます。特に、タイ王国では仕事を長く続けない人が多いため、タイ国民にとっては非常に画期的な試みです。

また、企業の視点から考えると、熟練の従業員が増えることで安定した生産を供給できます。また、チームワークも良くなり、月間生産目標を協力して達成しようとする環境を創ることができます。

二点目は、環境に配慮したプラスチック製品に着手しているという点です。

近年、環境保全の風潮が高まってきており、日精樹脂工業としてもなにか効果的な対策を強いられてきました。プラスチックの材料となるナフサは化学物質が多く、分解されにくいため環境に負荷がかかるからです。そのため、ナフサを天然資源を用いて作り、土に還るプラスチック製品を造ることで、環境保護に貢献しています。この取り組みにより、日精樹脂工業は信頼性の高い企業として地位を確立しています。

日精樹脂工業の見学の際、普段、従業員の方が食べている社員食堂から料理を提供していただきました。この料理は日本人向けに辛味が抑えられていたのでおおよそ食べることができました。しかし、一般的なタイ料理の大半は香辛料が強く効いているため、辛いものが苦手な私にとってなかなか手を伸ばしづらかったです。

また、タイ米は日本米と比べて、味や食感が大きく異なり、独特な風味で少し苦手でした。好き嫌が多い私にとっては、満足して食べられる料理が少なく、非常に不甲斐なかったです。しかしながら、熱帯などの暑い地域での栽培が有名なパイナップルやスイカ、ドラゴンフルーツなどは、日本で食べていたものよりも甘く、濃厚で、美味しかったです。



【株式会社都筑製作所】

最後に、「Thai Tsuzuki」を訪れ、企業説明や工場見学をさせていただきました。都筑製作所は、鉄鋼を変形させたり、組み立てたりして、鉄鋼製品を製造している会社です。都筑製作所は、タイ王国以外にも、日本国内の他県や他国に何箇所も製造拠点をもち大きな企業です。主に製造している製品は、車や重機などの車体や内部の油圧機械です。また、「HONDA」や「小松製作所」といった企業と部品を直接取引しているため、他の中小企業と比べて、製造から組み立てまで多種多様に幅広く行っています。



都筑製作所の一番の特徴は、極めて精密な部品を提供している点だと思います。というのも、他企業と比べて都筑製作所は、機械化が一番進んでいて、精密機器の製造はアームなどの機械が行っているところもあり、人間による手作業の場面があまりなかったことが理由としてあげられるからです。また、完成品のチェックが厳密で、製品が規格外になってしまっていないか調べる役割の人がかなり多かった印象があります。

そういった場でも必要になってくることがコミュニケーション能力です。都筑製作所では、グループとなって製品のチェックを行っていたり、技能検定などを持っていないタイ出身者に技能を教えたりするコミュニティなどがありました。工場は静かで厳格なイメージだったので、意外であったとともに深く感心しました。

○在タイ日本国大使館視察

企業見学の他に、バンコクにある日本国大使館にも伺いました。日本の外務省に勤務している方に話を伺うと、日本国大使館では主に日本とタイ王国の外交関係を良好に保つため、また、日本に興味を持ってくれる人を増やすために様々な政策を行っているとおっしゃっていました。例えば、日本で広く重要視されてきている環境配慮に関連する政策を、タイ王国でも執り行うように政府に提言したり、日本で流行している食べ物やアニメなどをタイ王国にも伝えて、日本の文化に触れ合ってもらおうなどといった政策を行っているそうです。



また、日本大使館の説明の他に、進路に悩める高校生のために人生相談のようなこともしてくださいました。主に、高校でやっておいたほうが良いこと、大学選び、将来へ向けて考えるべきことなどを、実体験を交えて詳しくお話ししてくださいました。私自身も進路のことで悩んでいたため、大学選びや、その後の人生において非常に参考になりました。お話ししてくださった方が強く主張していた「人生にミスはつきもの」という言葉を心にとどめて、今後の生活に行動として現れるように意識していきたいです。

○観光

観光として、遺跡や王宮を訪れました。基本的に外での観光となるので、とても暑かったけど、ガイドの方が遺跡の歴史や成立背景を事細かく説明してくださったので、楽しみながら学ぶことができました。タイ王国は仏教を信仰しており、王宮には日本のようなお寺や一部が金に包まれている大仏などがありました。現在は大仏の修理中で、募金を募って金箔を貼り付けていっているそうです。信仰心の篤いタイ王国なので、募金が集まりやすいのか、募金箱には何百枚もの紙幣が入っていました。もちろん私も 20 バーツ、すなわち 100 円ほどを募金しました。なんとなくですが、タイ王国に来ているという実感がすごく湧きました。



また、象乗り体験もすることができました。動物園で象をわずかに見たことがある程度だったので、「まさか象に乗ることができるなんて」ととても興奮しました。象の上は歩くたびに左右に揺れるため、手すりに捕まっていないととても危険だったけど、普段よりも圧倒的に高い視線や、間近で見られる象の肌、街なかの象に一切驚かない現地の方など、とにかく良い経験ができたの一言しか出ませんでした。また、象を操縦してくれた人にチップも渡せました。チップ文化に触れたことがないので緊張したけど、渡すという行為だけで胸が熱くなりました。王宮や象乗り体験では、タイ王国独自の文化を体験することができて、タイ王国を十分に堪能できていると実感できました。

○おわりに

今回の企業見学を通して、三社ともに共通することは、生産高を第一に考えるのではなく、従業員のことを気遣い、相互に利益を得ているということです。正直、工場では薄暗いところで黙々と作業しているといったネガティブなイメージを持っていたのですが、実際は、コミュニケーションが活発な良い雰囲気であることがわかりました。また、大使館も含め、説明して下さった方々が「未来の若者に期待している」という共通点があったようにも感じました。今回お話して下さった方々は、

「高校生は、まだ時間が残されているので、ぜひとも夢を叶えてほしい。」

「若さという武器を十分に活用してほしい」
などといったことをおっしゃっていました。だからこそ、高校生の時間を有効的に使い、皆さんの期待に応えられるように日々努力をしていきたいと感じました。

「はじめに」と関連して、“タイについて知る”と“タイを知る”では大きく異なることを認識しました。前者は、タイ王国についての表面的な知識を知っているだけに過ぎず、タイ王国の本質を理解しきれていません。しかし、後者は、実体験を根底に、目に見えない抽象的かつ概念的なものごとまで理解し、タイ王国を深く理解していると言えます。このように、国の理解しやすい要素、しにくい要素を可視化したものを「カルチャーアイスバーグ」と呼ばれる図で表現することがあります。この図は、目に見える要素は意外にも少なく、目に見えない要素のほうが占める割合が大きいことを氷山に例えて表しています。残念ながら、図を貼付することはできませんが、面白い考え方だなと思ってくださる方はぜひ調べてみてください。今後のものごとの捉え方の参考になれば嬉しいです。

このタイ王国研修では、本当に貴重な経験ができました。そして、タイも日本も互いに尊重し合うべき存在であることを理解しました。この報告書でも、基本的に“タイ王国”と呼称しているのはタイ王国を尊重している気持ちの具現化です。タイ王国研修旅行のおかげで、幅広い視野を持つ重要さに気がつくことができました。この貴重な経験やお話してくださった方々のアドバイスを活かして、限りある時間を有意義に過ごしていきたいです。



最後になりますが、今回のタイ王国研修は、費用を負担してくれた親、企画してくださった坂城町役場の企画調整係の方、同伴してくださった方々、計画から案内まで多岐にわたって支えていただいた観光ツアーリストの方々など様々な人が関わっています。慣れない海外旅行で、何度も迷惑をかけてしまったと思いますが、お世話になりました。とてつもなく貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました！

タイ国研修報告書

浅野井 拓

○はじめに

今回のタイ国研修にご尽力いただいた、町長様や役場の方々、旅行会社の方々、現地の方々を始めとした関係してくださったすべての方々、また背中を押して送り出してくれた両親に感謝を伝えたいです。本当にありがとうございました。

タイ国研修は私自身2度目の海外でしたが、長時間のフライトや最高気温が猛暑日にもなるような厳しい状況で身体的にすごく辛い事が多かったです。研修では実際にタイ国に進出している桜井製作所、都筑製作所、日精樹脂工業の3社を見学する

中で実際に現地に配属されている日本人の方の話を聞いたり、日本とはまた違う現地の工場を見学したりすることで、現地の生活や文化、考え方など実際に行動してみないとわからないことをたくさん知る機会となり、とても有意義な時間となりました。

日本とは異なる異国情緒あふれるタイを満喫し、今後の自分の将来像や国際的な問題など文化に触れることでより深く考えることができました。また、タイ出国の2日後タイがミャンマーを震源とした大地震に見舞われ、建設中のビルが崩壊するなどの大きな影響を受けました。地震に巻き込まれなかったことは幸いでしたが、現地の方々が無事であることを心よりお祈りします。



○企業視察

【株式会社桜井製作所】

桜井製作所では実際に勤務していらっしゃる日本人の方のお話とタイの上座仏教の信仰文化を実際に体験しました。日本人の方のお話では実際にタイ国で勤務していて大変だった話やタイ人の特徴についてお話をお聞きしました。タイ国でやはり最初は食が口に合わず大変だったというお話や特に驚いたお話はタイ人がとても時間にゆるいという話でこのような話は日本人が謙虚な人が多いというようなこととも関連性があるのかなと思いました。タイの工場で働いている従業員さんはとても人柄が良く、従業員の皆さん全員が笑顔で出迎えてくださり、とても居心地がいい場所でした。

そのあとに行った簡易式の仏壇に実際に線香を立て、花を供えて旅の幸運を願ってお祈りをしました。タイでは仏教が深く根付いており、まちなかの至る所で簡易式の仏壇を見かけることができました。桜井製作所の仏壇をはじめ、見かける仏壇すべてが色や装飾も合わせて眼を見張るほどの豪華さでした。また、供える花の種類が仏教を象徴する蓮の花と、日本などではお茶として飲まれるジャスミンの花であることにも驚きました。後日、理由を調べてみるとタイではジャスミンの花は目上の人への尊敬が含まれているらしく、その意味が仏教と深くつながっているため供えられているそうです。

桜井製作所の社長である桜井社長自らタイ国にまで足を運んでくださり、本当に代えがたい時間を体験することができました。実際に日本の社員と現地の社員とを派遣し合うことでより高い技術を得る機会となったり、世界に視点を広げられる機会を得ることができたりと双方にとって利点のある取り組みをしていらっしゃる会社が会社としてもものすごい価値が高いことだと勉強になりました。



【日精樹脂工業株式会社】

日精樹脂工業では現地で食べられている昼食と、工場の見学を行いました。工場の見学は規模としてはとても大きかったです。一方で工場に勤めている人の人数自体は50人ほどで他の企業に比べ少ないなと感じました。そのような少人数で行うことができる理由は、全員がすべての作業を行うことができるようになっていくというようなことがまず条件で、全員ができるということからその日の進捗がだいたいすべての人で同じになるため、全員の進捗が先まで見通すことができ、人が変わっても作業をそのまま引き継ぐことができるようにという工夫から来ていました。出荷するまでに一番時間のかかる作業が機械の組み立てではなく、試運転などで正確に動くことができるのかを判別するというところに1～2週間かかるという話にとっても驚かされました。最速でも一番小さい商品で一つの製品に2週間ほどかかるそうです。また、社員全員が日精という会社の一員であることに誇りを持って一つひとつの商品に心を込めて作っている姿勢にとっても感動しました。

また、日精樹脂工業さんでは見学の他に昼食も一緒を取らせていただきました。私達のために辛さをほとんどなくしてくださったそうですが、やはり辛いものはとても辛かったです。私は普段は辛いものは好きですが、タイでは日本とは違う辛さだからこそ体が対応できていないのかなと思うこともありました。しかし、タイの料理を食べていくうちに自然と辛さにも慣れて食べることができるようになっていきました。

日精樹脂工業さんでは、それぞれが作業をほとんど同じ速さで取り組めるからこそその効率的な人の休憩や循環、作業効率の拡大にもつながっていることを知ることができました。一つの商品を誇りを持って作ること、そこで働いている現地の方のかっこよさを感じました。



⇒日精樹脂工業の前にて

【株式会社都筑製作所】

都筑製作所さんの工場は今回タイで見学した企業の中で一番会社の規模が大きかったです。都筑製作所さんでお聞きした、首相が変わったことで利息に関する規制が厳しくなり、所得のある人しか車を買えなくなってしまったことによって、自動車業界に大きな打撃を与えているという話が一番心に残っています。タイでは若い人が顧客の中心であったそうですが、タイではその若い層は借金をして車を買うケースが多いらしく、新しい首相になったことで返済能力のなさそうな人やない人、返済が見込めない人がローンを組んで車を買うことができない現状にあります。その影響で日本の自動車メーカーであるスズキやスバルは現地生産を停止する状況に追い込まれてしまったそうです。また、ここ近年では中国の電気自動車の台頭によってタイの市場では中国企業が二番手につけており、東アジアにおける中国の企業の影響力、経済力の大きさを強く感じました。

また、都筑製作所さんの入ってすぐの場所に数メートルはあるようなラーマ9世、ラーマ10世、王後の立派な肖像画が金の額縁の中に入れており、高く掲げられていました。日本では天皇陛下の肖像画などを飾っている場所というのはあまり見かけないためとても驚き、また、王族との関係がそれほどまでに深いものになっているのか、と関係性の深さも感じました。企業と王族との関係をお聞きすると、タイで王族はものすごく高貴な存在であり、王族の肖像画を飾ることによってタイで活動させて頂いてることに対する感謝や、王族を大切にしていることを示すことによる国民からの社会的信用の確保などになっているそうです。そのため、大企業などでは王族の肖像画がかけられるようです。

都筑製作所さんでは日本にはない王族と企業、国民との関係性によって成り立っていることがわかりました。異文化の国ならではのしきたりという新しい学びとなりました。その国の文化を重んじることの大切さがタイでの企業の成功につながっていることを学び、従業員への配慮もまた大切であるということも学びました。



○在タイ日本国大使館視察

日本大使館では現在、現地に勤めていらっしゃる外務省の方のお話をお聞きしました。

実際に聞いたお話では外国語の勉強法が一番心に残っています。実際には勉強したい言語が話せる恋人、もしくは言いたいことを言い合えるぐらい仲の良い外国の言語を話せる友人を作るということをあげていま

した。生活しながら、勉強したい言語に常に触れ、間違ってしまったら、教えてもらい学ぶ。この循環を行うことによって、より本来の言語に近い形を体験することができること、日常的に触れることで言語をより身近に感じ言語の習得のスピードがはやくなることの2つのメリットを持ちます。この話を参考に、高校でも英語が母語で日本語も話せる友人がいるのでその人と日常的に英語を交えて話すことで、自分の英語のリーディングやリスニング能力を高めていきたいです。

外務省に入るための能力が単に言語の能力だけで決まるものではないということに国家公務員の難しさや、人付き合いの大切さを感じました。外務省の方の話だと3言語ほど話することができる、外交官として一見聞くと向いてるであろう人が入社試験に落ち、英語もあまり話せない人がその時試験に受かっていたという話をお聞きしました。必ずしも必要なのはただ言葉を話す能力だけではなく、コミュニケーション能力など他にも様々な能力が必要であることを示しているかのようでした。このことから、一つのことを伸ばすということは大切だとは思いますが、広くできることを増やすということも同じくらい重要であるということを感じました。

日本に起きているニュースだけでなく、日本が関係している海外関連のニュースや国際問題にも積極的に手を伸ばし、知見を広げ、より多面的な考え方をすることができるような人間になれるよう努力していきたいです。



○おわりに

今回の研修は気づけば、新しい発見の連続でした。宗教や王族と密接に関係している国であるタイでは、企業に簡易式な仏壇のようなものがあったり、王族の肖像画が飾られていたりとは日本では考えられないような光景をたくさん目にしました。そのような光景は会社の社員への配慮や国民の方々への気持ちの表れであったように感じました。その街、地域、国の文化を大切にしつつ企業と従業員、国民とが手を取り合い、協力し合って社会をまわしている世界は日本と通じ合う部分も多くありましたが、逆に日本とは異なる部分も多くありました。日本を飛び出し、世界で活躍している方々のお話は今後の将来への大きな刺激となりました。より多くの人の力となれるようなことを今回の研修の体験を基にし、視野や行動範囲を広げ、より多くのことに挑戦していきたいです。



坂城町タイ国研修事業

樋口 碧

○はじめに

私は今回、3月23日から27日まで、3泊5日の坂城町高校生タイ国研修事業に参加させて頂きました。私は英語力を試したり、異文化に触れてみたいと思っていましたが、初めての海外で、今まで何回か海外に行くチャンスはありましたが、チャレンジする勇気がなかったので、今回は家族の後押しのもと参加させて頂きました。実際行ってみると、英語を聞き取ることはなんとか出来ても言語化出来ないのが現状で力不足を感じました。その一方では、日本とは違う文化に驚く毎日でもとても楽しかったので有意義な時間になったと思います。



○企業視察

【株式会社桜井製作所】

桜井製作所さんではプレス加工を主とする金属加工について見学させて頂きました。坂城町からタイに進出した理由は取引先がタイに多くあるからだそうです。機械を使いながら一つ一つの部品を丁寧につくっていたのが印象的でした。製品に傷がついていないかの確認も一つ一つ丁寧に確認していく繊細な作業に驚きました。タイの工場では、タイにお越しくださった桜井さんをはじめ、そこで働いている人達もとても親しみやすい方で、タイ語の他に英語や、日本語まで話せる方がいて驚きました。従業員さんの中には日本の本社で3年も働いていた方もいるそうで日本語が伝わる方もいますが、一応通訳の方もいるそうです。

また、タイの工場見学の際にはタイのお祈りを体験する機会を設けていただき、旅行の安全祈願をしました。屋外にある神様の建物に飲み物や果物のお供え物をし、手を合わせてお祈りをしました。その後に靴を脱いで石段を上り、お線香をあげ、マリーゴールドやジャスミンのお花をかけました。とても貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。



【日精樹脂工業株式会社】

日精樹脂工業さんではプラスチック製品を加工するための機械について見学させて頂きました。プラスチックを通して人間社会を豊かにするという経営理念の元、プラスチック加工をする機械、射出成形機を製造しています。私の日精樹脂工業さんの印象はとにかく大きい一言で、坂城町の企業見学では、高速道路からも見える大きなビルで日精樹脂工業さんが何をしているのか教えて頂きました。国内でもトップクラスのプラスチック射出成形機メーカーで、環境に優しいプラスチックの研究も行っていました。坂城町の企業見学の際、環境に優しい材料から作られたプラスチック製品の、スプーン、フォーク、ナイフを頂きました。この製品の製造過程で、実際に射出成形機を使用する様子を見学させて頂きました。射出成形機は、溶かした樹脂を流し込み、冷やし固めると形が出来上がるのですが、それがほんの一瞬の出来事で行われ、しかも丈夫で驚きました。

タイの工場では射出成形機本体を作る様子を見学させて頂きました。物を買う時、生産地がmade in JAPAN以外だと少し品質が下がるのでは無いかと感じる人も多いと思うのですが、日精樹脂工業さんでは、タイで

も日本と同じ品質基準を設定しているため、品質は劣っていないそうです。さすがの配慮に驚きました。

【株式会社都筑製作所】

都筑製作所さんでは、大型機械に使われる部品の製造過程を見学させて頂きました。都筑製作所さんは、私の登下校の道には無かったのであまり話を聞いたことがありませんでした。ですが、話を聞いてみると、HINOや、コマツなどの大手企業や、今は行っていないと聞きましたが以前にロケットの部品を作っていたことがあったらしく、とても驚きました。そのほか大型機械の部品を製造しているようです。現在は首相が変わり車のローンが厳しくなったため、車の売上が低迷してしまっていることが課題だそうです。タイの工場は坂城町にある工場よりも遥かに大きく、坂城町から大きく広がっていく工場に驚きました。この大きい工場では、環境の整備を進め、棚でコンテナの整理をし、ITを活用してミスを削減しているそうです。

おもてなしも手厚くして頂き、象の絵が入った扇子を頂きました。とても可愛かったです。ありがとうございました。



○在タイ日本大使館視察

日本大使館では日本とタイの関係についてお話を聞きました。私はタイに来て最初に空が見えないことに驚きました。初めは天気が悪く曇っているだけなのかとも思いましたが、空の青色も、星のひとつも見えなかったのを調べてみるとPM2.5が関係しているそうです。首相が代わり、軍事政権も終わったことから何か対策があるのか聞いてみたところ

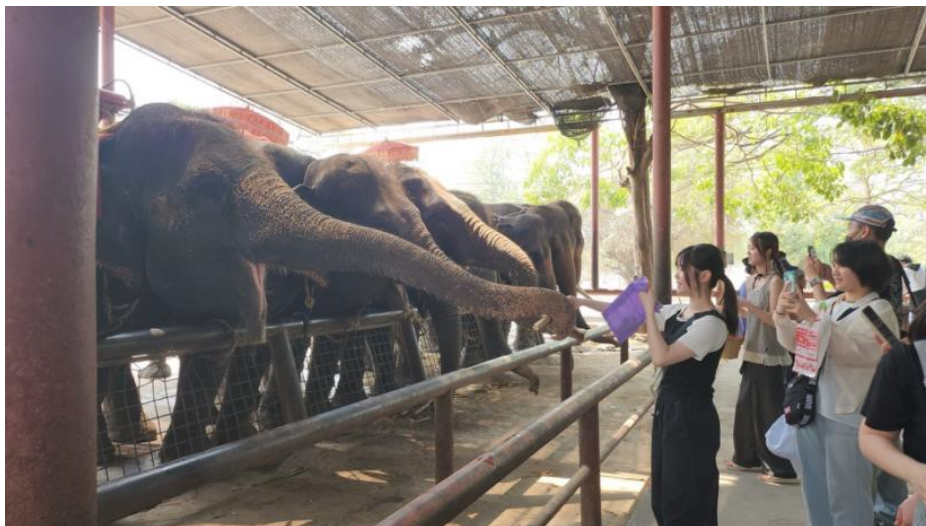
ろ、今のところ政策はないそうです。車やバイクの排気ガスがひとつの原因になっているそうですが、遺跡や、王宮はとても壮大で綺麗だったので、青空や星空も一緒に見たいと感じました。私も地球を綺麗にするような心がけをしたいと思います。

大使館でのお仕事のひとつは、タイや日本の情報を集めることで、間違った内容の情報の訂正をしたりするそうです。またひとつは、タイの方々に日本を好きになってもらう活動をするそうです。実際は、日本でも流行った音楽アーティストのAdoさんがタイでも反応が大きかったそうです。

今話題になっている大阪万博のキャラクターのミャクミャクのパネルが沢山置いてあり、日本を広めようとしている様子や、どこか安心できるような雰囲気にはほっとしました。

また、タイは比較的治安が良く、日本人も住みやすい国だそうです。実際に英語だけでなく、日本語を話せる人も多く、お店など街で出会う人達は親切な人が多いと感じました。

他には、言語の習得方法についてアドバイスを頂きました。ネイティブの方と日常的に関わることが一番のおすすめだそうです。ネイティブの方と関わることは難しいかもしれませんが、積極的に話すことを意識したいです。



○終わりに

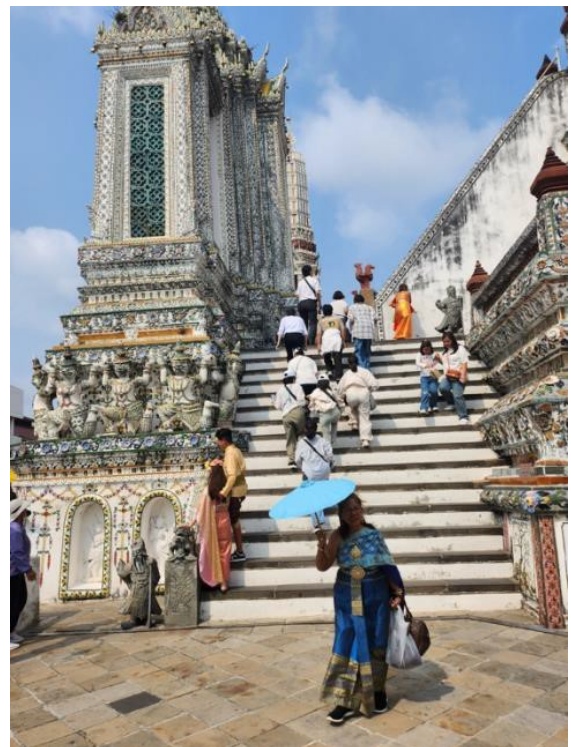
今回の研修を通して、今までは見かけるだけで何をしているのか知らなかった坂城町の企業について知り、その偉大さを感じました。坂城町

の魅力をより感じる事が出来、坂城町を誇りに思えました。

また、企業見学の他にも遺跡や王宮の観光や象乗り体験、タイ料理の体験など多くの異文化体験まで計画して頂きとても貴重な経験になりました。タイの食べ物は辛い味付けや酸味の強い味付けが多く、タイの学生にこれが辛いのかと驚かれたことに驚きました。どこか日本と似ている部分もある、王宮や遺跡はタイの歴史を感じられ、居た堪れない気持ちになることもありましたが、壮大な過去や迫力を感じられ感動しました。象乗り体験は1番楽しみにしていましたが、何年も前に動物園で遠くから見るだけだった象の背中に乗り、大きな背中に揺られ、優雅な時間を過ごしました。顔におめかしをして、ゆっくり1歩ずつ進む象の姿はとても可愛かったです。

今回の研修事業を通して、言葉が通じる日本を離れ、言葉が違う国に行っても、人の温かさを感じました。まともなコミュニケーションをとることは難しかったですが、私は機械を通してではなく自分の言葉でコミュニケーションがとりたいと思いました。今後、世界で様々な技術が発展して翻訳が容易になるとしても、私は世界の共通言語である英語を学び、できるだけ自分の伝えたいことを伝えたり、伝えとったり、自分の身で、自分の力で、自分の解釈で、色んな人と関わりたいと思いました。

最後に、坂城町役場の方々を始め、研修事業計画に携わった方々、私たちが企業見学、タイ国研修に参加できたこと、とても感謝していますありがとうございました。



タイ国研修を通して学んだこと

小林 果穂

はじめに

3月23日から27日の5日間は私にとって貴重な体験となりました。初めての海外だったのでとても不安でしたが、現地ではゾウに乗ってアユタヤ遺跡の周辺を散策したり、エメラルド寺院を訪れるなど思い出に残る様々な楽しい体験をさせていただきました。レストランなどで食べたトムヤムクンや、現地の学生と一緒に飲んだタイティーはおいしかったです。また、スワンナプーム空港に入った瞬間の日本との違いを感じたとき、そして帰国したときの羽田空港の感じ方は全く違うものになっていました。そこで改めて、タイに行くことができて本当に良かったと感じました。



桜井製作所

タイ、チョンブリー県にある工場を見学させていただきました。桜井製作所では自動車・オートバイ・その他の様々な部品を取り扱っており、材料をくり抜く金型を設計し、それを使ってプレス機にかけてプレスするというやり方で製造しています。見学では、製造している製品やそれらを点検する現地の社員の方々の様子を見せていただきました。

日本でもそうでしたが、タイでも社員さん同士の親交が深く働く場として楽しい環境になっていることを感じられました。また、工場のすぐそばにある会社の祠サンプラプームへ参拝させていただきました。タイではどこの会社やお店にもサンプラプームがあり、社員の方々が商売繁盛などを願っているそうです。タイの仏教に触れる貴重な体験をさせていただきました。



日精樹脂工業

日精樹脂工業タイ工場はラヨンイースタンシーボード工業団地内にあります。日本で射出成形機を使ってプラスチック成型するところを見学したのに対し、タイではその射出成形機を作っているところを見学させていただきました。日精樹脂工業ではタイのほかに中国やアメリカなどで多く展開しており、そうすることによって低コストで多くパーツを仕入れ生産出来るようになっていきます。工場内は効率よく組み立てるために区画ごとに分かれており、組み立てパーツも大きいものから細かいものまで必要なものごとでまとめてありました。このような工夫によってより早く組み立てができるのだそうです。

日精樹脂工業では普段社員さんが食べている社食をいただきました。肉団子の入ったスープと、練り物のようなものがとても辛かったけれど美味しかったです。



都筑製作所

都筑製作所の工場はタイ最大の工業団地、チョンブリー県のアマタナコーン工業団地にあります。2011年に第二の海外拠点として設立されました。最初に工場を見たときに日本よりも大きくて驚きました。タイの工場では建設機械用の部品や四輪車、二輪車の部品を作っており、様々な形の部品があり驚きました。都筑製作所さんはこれらを日本や地元のメーカーに販売しているそうです。都筑製作所のところで社員さんが手書きした素敵なゾウのイラストが入った扇子をいただきました。とても可愛く、その後の観光でも暑さを凌ぐことができました。



日本大使館

大使館の中に入るとき受付の横にあるロッカーに携帯などを預けたり、二重にそれぞれにロックがかかったドアなど厳重な警備体制が印象に残りました。タイにいる日本の方々を守るための場所なので要塞のようになっていました。

大使館で勤務している方からは、タイでどんな仕事をしているのか、なぜ大使館で働くようになったのかなど外務省の仕組みなどを教えていただきました。日本と文化的に違うことで起こる大変なことを質問しましたが、桜井製作所でも聞きましたが、日本よりも時間にルーズなところがあるので期限について気をつけるようにするというお話が面白かったです。

おわりに

最初は不安な気持ちでいましたが、タイの方々はとても優しくて帰る頃にはとても名残惜しかったです。タイの学生と一緒にショッピングモールを回ってお土産を買ったり、タイティーを飲んだりしたのが一番の思い出です。ショッピングモールを歩いて気づいたのは、意外にも多くの日本のお店があったことです。タイに来ていたのにまるで日本のようで不思議な感じでした。

また、私の英語力の無さを今回実感しました。会話ではタイの学生さんは日本語も勉強しているということで、私は拙い英語と日本語でなんとか会話をしていました。これからはもっと、現地の方と楽しく会話ができるように勉強を頑張ろうと思います。



坂城町高校生タイ国研修

渡邊 にこ

○はじめに

3月23日から27日の5日間、坂城町高校生タイ国研修に参加しました。初めてのタイ国研修ということで緊張しすぎてドキドキが止まりませんでした。

飛行機を降りると、着ていた長袖を脱いで半袖になるほど暑く、長野との違いを実感しました。空港からバスで移動しホテルに向かう時、広告の大きさやピックアップトラックの荷台に人が乗っていたり、見たことのない花が咲いていたりなど、日本や長野とのギャップに驚いてしまいました。ホテルに着き、夕飯のタイ料理を食べました。左の写真のスープが酸っぱ辛かったのが強く印象に残っています。



○企業視察

【株式会社桜井製作所】

坂城町にある株式会社桜井製作所は設立 1958 年(昭和 33 年)6 月 27 日で金属プレス加工を中心に行っている会社で深絞り加工の技術が素晴らしい会社です。

株式会社桜井製作所タイランドの設立日は 2011 年 9 月 11 日で今年で 14 年目になりチョンブリー県のピントン工業団地 1 にあり敷地面積 約 3200 平米でプレスマシンが 13 台あります。



実際にタイで働いている方のお話を聞かせていただき、日本人と現地の方の違いについて教えていただきました。日本人の場合、納期が近いと残業をする人が多いと思いますが、現地の方は納期が近くても帰ってしまうことがあるそうです。そのことを踏まえた上で指示を出さなければならないと言う話を聞いて、私は日本人と海外の方の違いを感じました。

【日精樹脂工業株式会社】

日精樹脂工業は1947年に設立し射出成形機の設計・製造・販売・メンテナンス、金型の設計・販売を行っている会社です。生産拠点は5カ国あり、その中のタイのラヨーン県にある、ハイブリット機の生産工場に行ってきました。

タイでは、射出成形機の製造・販売を行っています。見える工場を意識していて、加工する場所には壁がありますが、それ以外の場所は柱で区切るようにしてありました。現地の方の特性や性格に合うように1人が辞めても困らないように1日分の仕事を振り分けています。ですが、最近では入れ替わりがなく一番長く勤めている方は10年も働いているそうです。そこで勤めている方々はとても礼儀正しく、みんな誇りを持って仕事をしていました。

「価格を抑えて、早い納期でお客様に利益を。」

「made in タイランド made in NISSEI 」
とお話しただけでした。一人一人が情熱を持って仕事に打ち込んでい
る姿にとっても強く胸を打たれました。

また、社食もいただきました。全部美味しかったのですが、右のおか
ずは辛く舌がヒリヒリするような辛さがとても美味しかったです。



【株式会社都筑製作所】

都筑製作所は 2011 年にタイに進出し自動車に関連した部品などの製
造を行っています。工場を見学させていただきましたが、たくさんの人
が協力して部品を作っていました。実際の部品を触らせていただい
たり、一つ一つの部品の説明を聞きました。工場の中は、たくさんの機
械が動いていました。下の写真は説明を受けている写真です。



○在タイ日本国大使館視察

タイ日本国大使館は、中に入る前にスマホをロッカーに預けてから入ったり建物を囲う塀が高く、とても緊張してしまいました。タイ日本国大使館では外務省と外交政策の話、人生や時間のことをお話していただきました。大使館がどんな場所で何を行っているのか全く知らなかったのですが、話を聞けてよかったです。また、自分の時間の使い方など再び考えさせるキッカケになりました。

○おわりに

私たちが住んでいる坂城町の企業がどのようなお仕事をしているのか見せていただき、今まで『ものづくりのまち坂城町』は実際に何を作っているのか分からずにいましたが、今回の体験で理解し多くの方が情熱を持ってお仕事に取り組む姿を間近に見れてとても嬉しく思います。この経験を活かしながら私の将来について考えていけたらいいなと思っています。

特にタイで驚いたことは、トイレです。日本ではトイレットペーパーを流すことが出来ますが、タイではトイレットペーパーは流さずにゴミ箱に捨てます。普段、流すことに慣れている私はこのことにとても驚きました。

コンビニに行くと商品に日本語が書かれてあったり、タイの現地の学生と交流する時に日本のアニメや漫画、ゲームに詳しく日本語がとても上手で日本のことを好きでいてくれている印象を受けました。これからも日本のことを愛していただけるように私はいち日本人として行動や言葉、人を思いやる気持ちを大切に出来たらいいなと思いました。初めてタイに行き、日本では体験出来ない貴重な経験ができ、お金を払ってくれた両親や視察させていただいた企業さま、乗務員さん、企画政策課の皆さんの支えがあり、かけがえのない経験が出来ました。ありがとうございました。



タイの風を感じる春 坂城町 高校生タイ国研修

令和7年

3・23 ▶ 27

Sun

Thu

【3泊5日】



坂城町高校生タイ国研修 参加者募集

坂城町在住 または
坂城町の高校に通う
高校生のみなさんへ

応募締切 令和6年12月13日（金）

募集人数：8人

坂城町在住又は坂城町の高校に
在学する高校生（学年不問）

参加費：11万円

別途燃油サーチャージ代が
かかる場合があります。

応募方法：申込書を下記申込先まで提出してください。

申込書は申込先と町HPで配布しています。
<https://www.town.sakaki.nagano.jp>

研修概要

■タイ進出町内企業

3社の現地工場視察

■在タイ日本国大使館見学

■異文化・歴史体験 ■現地学生との交流

【研修コース バンコク～アユタヤ】

視察予定企業（五十音順）

(株)桜井製作所 様
(株)都筑製作所 様
日精樹脂工業(株) 様

詳しくは町HP・
SNSをチェック！

坂城町高校生タイ国研修会



お申込み・お問い合わせ先

坂城町役場 高校生タイ国研修事業事務局
（役場2階企画政策課 企画調整係内）

TEL：0268-75-6211（直通） 0268-82-3111（代表）
E-mail：k-chousei@town.sakaki.lg.jp

令和6年度 坂城町高校生タイ国研修

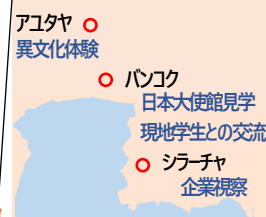


令和7年 3.23Sun▶3.27Thu【3泊5日】

バンコク・アユタヤ・シラーチャ

坂城町では、町内の高校生を対象に、海外展開する坂城町の企業を現地で視察し、坂城町の底力を学ぶとともに、タイの学生や企業で働く皆さんとの交流を通じて、豊かな国際感覚を養ってもらうため、「坂城町高校生タイ国研修」を実施しています。

この春休み、世界のこと、学び育ったふるさと坂城町のことを学んでみませんか？



研修コース

※変更になる場合があります

タイ国

参加者募集要項

- ◆研修の目的 将来の坂城町を支えていく町内在住の高校生や町内の高校に通う高校生に、海外で活躍する町内企業の視察のほか、現地の学生との交流や歴史・文化などの異文化交流を通じて、国際感覚を養い、坂城町、更には日本を再認識するとともに、将来展望を考える機会とする。
- ◆研修期間 令和7年3月23日(日)～3月27日(木) 3泊5日(機中1泊)
- ◆募集定員 坂城町在住の高校生又は坂城町の高校へ通う高校生 8人
- ◆応募資格 (1)応募時に、坂城町在住で高等学校に在学中又は町内の高等学校に在学中であること
(2)事前研修及び帰国報告会等に参加できること
(3)心身ともに健康で、タイ国での研修意欲が旺盛であること
(4)主催者の計画や引率者の指示に従って規律ある行動や団体生活ができること
(5)保護者の同意及び学校の承認があること
- ◆参加費 110,000円
【旅行代金に含まれるもの】※一部体験学習等に伴う経費を除く
・航空運賃 ・宿泊料金 ・食事代金 ・観光料金 ・企画料金 ・空港施設使用料
・手荷物運送料金(航空会社規定料金) ・添乗員経費 ・現地空港税 ・日本国内交通経費
【旅行代金に含まれないもの】※参加者が各自で支出する経費
・海外旅行傷害保険料 ・パスポート取得費 ・個人的性質の諸費用(電話、追加飲食代等)
・旅行準備のための経費 ※別途燃油サーチャージ代を負担いただく場合があります。
- ◆応募方法 タイ国研修事務局〔坂城町役場企画政策課〕及び町HPで配布する申込書に必要事項を記入し、事務局に直接持参するか、又は郵送により提出する。
【坂城町HP: <https://www.town.sakaki.nagano.jp>】
- ◆応募締切 令和6年12月13日(金)
- ◆選考方法 書類による審査〔参加志望動機〕
- ◆その他 帰国後、1か月以内に指定する報告書を提出すること

Facebookで過去の研修の様態をご覧ください



お問い合わせ・お申込み先

坂城町役場 高校生タイ国研修事業事務局
(役場2階 企画政策課 企画調整係内)

TEL 0268-75-6211(直通) 0268-82-3111(代表)
E-mail k-chousei@town.sakaki.lg.jp

令和6年度 坂城町高校生タイ国研修事業に係るスケジュール

月	内 容
9月26日(木)	令和6年度 タイ国研修プロジェクト会議 ・研修内容について〔研修行程の検討〕 ・参加者募集について〔募集要項の検討〕
10月～11月	参加者募集及び申込受付開始 ・町ホームページ、広報11月号 及び ポスター配布等による周知 参加申込期限 12月13日(金) (1か月半の申込期間) ・研修事業参加希望者に対する学校承認依頼について
1月21日(火)	参加者事前説明会 (研修に向けての手続き等) ・旅券 (パスポート) 取得申請 及び 旅券 (パスポート) コピーの提出 ・海外旅行保険の申込み ・研修参加費の納入
2月中旬	参加者氏名・人員の最終報告
3月11日(火)	研修出発前勉強会 (出発前最終確認) (研修先 (視察先) 企業事前勉強会)
	タイ国研修 3月23日(日) ～ 27日(木) 〔3泊5日〕
5月21日(水)	研修報告会の開催